



ニュースリリース

その情熱で、先端へ

2016年10月13日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

バイナリー発電技術の商品化について ～ 未利用エネルギーの更なる利用促進 ～

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 藤原 真一、本社：東京都品川区 以下、当社）は米国エネルギーエンジニアリング会社である TAS Energy Inc.（タス・エナジー、以下「タス社」）（CEO JT Grumski（ジェーティー・グラムスキ）、本社：テキサス州ヒューストン）より、低温地熱や工場排熱等を利用して発電が可能なバイナリー発電技術の導入を完了し販売を開始しました。

当社は、これまでコージェネによる熱電供給やごみ熔融炉において、省エネルギー技術を蓄積して参りましたがこのたび、タービン入側吸気冷却装置など冷却媒体を利用した熱交換技術を得意とするタス社からバイナリー発電技術を導入し、新たに商品ラインアップに加える事で、省エネルギーや地熱資源の利用拡大を志向する国内外の顧客ニーズに幅広く応える事が可能となります。

また、今回導入した技術は、バイナリー発電の熱サイクルとして一般的な亜臨界サイクルに加えて、タス社が地熱分野で世界に先駆けて実用化に成功した発電効率の高い超臨界サイクルも含まれており、これにより当社は利用する熱源に適した発電効率の高いバイナリー発電装置を提供することが可能となります。

当社は、今回の技術導入によりクリーンなエネルギー源として期待の高まる地熱資源の更なる利用拡大や工場排熱等の未利用エネルギーの利用促進を通じて、低炭素化社会の実現に向けて取り組んで参ります。

【タス社の概要】

◆主な製品：タービン吸気冷却装置、データセンター向け冷却装置、バイナリー発電装置^(注)

(注) バイナリー発電装置は、米国・トルコの顧客向けに11サイト（計16ユニット、出力総計150MW）の納入実績あり。



【タス社製バイナリー発電装置外観】

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/>

以上